

平成30年度PTA活動振興功労者表彰被表彰者一覧
 【小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、私立幼稚園・認定こども園PTA】

(都道府県順)

No	都道府県	氏名	主要PTA経歴	主な功績
1	北海道	あおた もとい	函館市PTA連合会	会長として、強いリーダーシップのもと、少子化や学校統合、財政面等で生じる課題に対し、地区組織再編や財政安定化基金等に取り組むとともに、函館市新PTA会長研修会を実施し、後進の指導にも積極的に取り組んだ。さらに、函館市の教育委員として教育活動の充実・発展に向け積極的に具申するなど、顕著な活動を継続している。
		青田 基	前会長	
2	北海道	さとう あきら	北海道PTA連合会	研究会等において、内容や運営の改善に努め、会員の資質向上に貢献した。更に、北海道PTA連合会の会長として研修活動に積極的に取り組み、より確かな現状認識の下、今後の研修活動の進むべき方向性を明示した。特に、平成24年度第59回日本PTA北海道ブロック宗谷・稚内大会の開催にあたっては、現地実行委員長として大会の成功に貢献している。
		佐藤 彰	前会長	
3	北海道	おかざわ くにゆき	北海道私立幼稚園PTA連合会	北海道私立幼稚園PTA連合会会長就任後、組織の要となる委員会活動に積極的に働きかけ、運営の活性化に向けたPTA連合会組織の基盤強化に努めた。特に広報誌の内容充実や公式Webサイトを立ち上げたことで、PTA連合会の活動状況や成果などの情報が、保護者により一層身近なものとして捉えられるようになり、PTAに対する興味をひくとともに理解を深め、魅力あるPTAの浸透を図った。全道規模の研修大会を開催し、保護者の幼児教育に対する理解を深めるとともに資質向上に努めた。
		岡澤 邦幸	元会長	
4	北海道	やまもと きよかず	札幌市PTA協議会	札幌市の子どもたちとPTA会員のために情熱をもって事業に取り組んだ。特に、ライオンズクラブと連携し、「薬物乱用防止ポスターコンクール」を実施するなど、子どもたちを危険から守るための啓発活動を推進し、意識向上に尽力した。また、一般会員からの教育行政に関する要望にもとづき、札幌市教育委員会への要望活動を実施するなど、教育環境の改善に努力を傾けた。
		山本 清和	元会長	
5	北海道	かわばた みき	札幌市PTA協議会	札幌市PTA協議会の抱える課題を明確にし、課題解決のため、役員会・理事会で粘り強く協議を進めるなど大きな貢献をした。さらに、第58回日本PTA北海道ブロック研究大会札幌大会、第63回日本PTA全国研究大会札幌大会に向けた企画推進をはじめ組織体制づくり、札幌市教育委員会との具体連携を強めた他、日本PTA全国協議会理事、中央教育審議会教育振興基本計画部会委員等としても活躍した。
		川端 美樹	元会長	
6	青森県	ますかわ つよし	青森県PTA連合会	いじめやネット被害の未然防止、交通災害や震災被害の防止に向けた対応が喫緊の課題であった中、豊富な経験をもとに理事の意見をまとめ、課題解決に努めた。また、募金活動、教育懇談会、児童の安全確保等に関して具体的な活動を行うなど、多岐にわたる分野において積極的に活動を行った他、財政運営の健全化にも携わった功績は大きい。
		益川 毅	元会長	
7	青森県	さとう ひろまさ	青森県PTA連合会	限りのある年次活動であるPTAの活動を、『子どもの笑顔と夢のため』に、「できる時」に、「できること」を楽しく行う事をモットーに、時宜を得た研修テーマの設定やジャンプチーム参加への呼びかけ、PTA会員と中学生が行った清掃活動などを通じて、子どもの健全育成に尽力した。また、青森県PTA連合会の財政及び運営にかかる改革を行い、同会の活動充実に寄与した。
		佐藤 広政	前会長	
8	青森県	そうま たいちろう	青森県特別支援学校PTA連合会	小学校や在外教育施設でのPTA活動から得た幅広い視野と経験を特別支援学校PTAの運営にも生かし、「国籍、年齢、性別そして障害の有無を越えたバリアフリーな社会の実現」を求め、各学校PTAの意見を尊重し、要望を取りまとめて県や教育委員会との連携を強化した。また、後進育成においても積極的に役割を果たし、副会長2名を会長候補として育てるなど貢献した。
		相馬 多一郎	前会長	
9	岩手県	いがらし のぶよ	岩手県PTA連合会	単位PTA役員を皮切りに、盛岡市PTA連合会、岩手県PTA連合会等の理事、副会長そして会長として、すべては子ども達のために自ら実践、活動の推進と振興を図った功績は大きい。セミナー開催を中心として家庭教育の推進に力を入れ、会員の研修意欲を喚起させながら事業の推進役となり、また、他団体の要請に応じて、様々な委員に委嘱され、保護者の代表として活躍するなど、PTA活動に尽力した。
		五十嵐 のぶ代	会長	

10	岩手県	うわの りえこ	盛岡市PTA連合会	小、中、高等学校の単位PTA会長として長きにわたってPTA活動の振興へ多大の貢献をした。また、盛岡市PTA連合会での初の女性会長としてPTA活動を推進し、活性化に大きく寄与した他、第46回東北ブロックPTA研究大会盛岡大会においては、実行委員長としてリーダーシップを発揮し、大会を成功に導いた。さらに、PTA会報「市P連」を創刊し、事業計画に位置付ける等定期的に発行するような仕組みを作るなど、PTA活動の振興に大きく貢献した。
		上野 理恵子	元会長	
11	宮城県	ささき けんじ	宮城県PTA連合会	「第57回日本PTA全国研究大会みやぎ大会」の副実行委員長として、県内の会員の力を結集して県内各地で分科会を開催し、広域開催の大会を大成功に導いた。また、「いじめチェックリスト」や「いじめゼロ宣言」啓発ポスターの作成等を通し、会員が子供の変化に気付く目や心を養う活動を県内に広げた。いじめ撲滅に向けた大きな原動力となった功績は大きい。
		佐々木 賢司	元会長	
12	宮城県	たかぎ ひろゆき	宮城県PTA連合会	宮城県PTA連合会において、監事、理事、常任理事、副会長、会長、顧問、そして単位PTAにおいても会長を務めるなど、長きにわたってPTA活動に貢献した。「第57回日本PTA全国研究大会みやぎ大会」の副実行委員長として県内の会員の力をまとめ上げ、第二分科会実行委員長として創意工夫に満ちた運営能力を発揮し、指導的立場で大会を大成功に導いた功績は大きい。
		高城 裕行	前会長	
13	宮城県	きくた あつし	宮城県PTA連合会	宮城県議会議員や宮城県教育委員会との意見交換会を開催するなど、会員の向かうべき姿勢や心構え、そして児童生徒のより良い教育のあり方について提言し、実践を推し進めてきた。行政とのパイプ作りにも尽力し、その功績は今後に活かせるものである。復興支援映画「君の笑顔に会いたくて」の普及活動や被災地である気仙沼での「防災マニュアル」の作成と、マニュアルを活用して他県市町村で実施された防災フォーラム等、防災教育の普及、推進などの功績は大きい。
		菊田 篤	会長	
14	宮城県	さとう みかこ	仙台市PTA協議会	教育環境の整備と児童生徒の健全な育成を目指し、社会情勢を分析して現代的な課題に対応した研修会等を積極的に開催し、PTA会員の意識の向上に努めてきた。同時に、全PTA会長の研修意欲を高めながら結束を強めてきたことで、各PTAがその役割を認識し、活動が活性化してきている。また、東日本大震災の被災地支援活動を通し、多くのPTA会員に子どもたちの教育環境の整備と充実を訴え、会員自ら行動に移すことの大切さを共有させるなど、大きな実績を残した。
		佐藤 美佳子	前会長	
15	宮城県	ささき こうじ	宮城県立古川支援学校PTA	以前から取組んできた会報「おおぞら地域版」の配布とハートパッチの普及活動（パッチ・グー大作战）を、地域に向けて広げることにも尽力した。「我が子に障がいがあることを周囲の人に理解してもらい、温かく見守ってほしい」という親の願いを代表して県内外に発信することで、県外からハートパッチについての問い合わせをいただくなど大きな反響もあり、子供たちが地域でより生活しやすくなるために多大な力を注いだ。
		佐々木 幸治	会長	
16	秋田県	よしむら まさし	秋田県PTA連合会	秋田市立川尻小学校PTA会長をはじめ、秋田市PTA連合会、秋田県PTA連合会と長年にわたり単位PTAの活動を支え、地域のPTA活動の中心となり運営した。また、東日本大震災、熊本地震、大雨災害などの募金活動や被災地域の訪問事業などに先頭に立ち活動した。第50回日本PTA東北ブロック研究大会秋田大会では、それまでのPTA活動で築き上げた組織力を生かし、東北ブロックPTA協議会会長として大会の企画・運営に関わった。
		吉村 昌之	会長	
17	秋田県	のざき はじめ	秋田県PTA連合会	秋田市立勝平小学校PTA、秋田市立勝平中学校PTAの会長をはじめ、秋田市PTA連合会の会長、事務局長、秋田県PTA連合会の会長、副会長を務めた。その間、東日本大震災での被災児童・生徒と秋田の児童・生徒の交流事業を行い、また、東北ブロック大会でパネリストを務めるなど、PTA活動に貢献した。特に、第50回日本PTA東北ブロック研究大会秋田大会では、それまでのPTA活動で築き上げた組織力を生かし、実行委員長として大会の企画・運営に携わった。
		野崎 一	前会長	
18	秋田県	わたなべ ひろこ	秋田県立稲川支援学校	小学部から高等部までの12年間PTA会員として携わり、会の運営に取り組んだ。新たな事業を立ち上げるなど組織の改善に取り組むだけでなく、学校の教育活動全体の活性化に貢献した。平成28年度には、全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会の全国大会（秋田大会）で東北ブロックの代表校として「特色あるPTA活動」の発表を行った他、秋田県特別支援学校PTA連合会会長として秋田県特別支援学校全体のPTA活動の活性化にも尽力した。
		渡部 博子	前PTA会長	
19	山形県	たけだ たけひこ	公益社団法人 日本PTA全国協議会	「子どもたちの笑顔のために」の理念を継承し、「学ぶPTA」「活動するPTA」の実現をめざし、課題を探り、新たな事業に結び付け、事業を展開してきた。日本PTA全国協議会会長に就任してからも、全国の実情を見極め、必要な事業の推進に努力するなど、公益法人としての安定した活動継続に尽力された功績は大きい。
		武田 岳彦	元会長	

20	山形県	にいぜき とくじろう	山形県PTA連合会	子どもたちの健全育成のために会員の研修を重視し、他県や先進地域を視察・研修する取り組みを積極的に導入し、見聞を広める活動を展開した。さらに、領域別の講師一覧を作成するなど、「学ぶ」PTAの実現に尽力した。また、子どもたちの健全育成のために、様々な機関や団体、関係者と連携し、事業の展開を図った。常に子どもたちの教育課題を解決するためにPTAとして何ができるかを追究し続け、意欲的に事業展開を図った功績は大きい。
		新聞 徳次郎	元会長	
21	福島県	こばやし としあき	福島県PTA連合会	福島県PTA連合会の運営に積極的にに関わり、本会の発展、活動の充実に寄与した。県内各PTAの実情の把握、日本PTA全国協議会・東北PTA協議会の動向を的確に把握し、本会の活動方針や活動内容に反映させる努力をした。また、福島県の現状を全国に理解してもらうために、日本PTA全国協議会役員・理事による「福島第一原子力発電所視察」を企画・実行するなど福島県の風評被害払拭や復興への取組を積極的に発信するなど、貢献してきた。
		小林 利明	会長	
22	福島県	いとう まさお	福島県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会	福島県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会、いわき市私立幼稚園協会PTA連合会の役員として、各行事を把握し、地域に密着した活動ができるよう努力してきた。所属園・所属市・所属方部だけでなく、他園・他地域の保護者との関わりを大切にしながら各種会議等に積極的に参加し、保護者としての意見を述べるなど、よりよいPTA活動を目指して実践活動を行ってきた功績は大きい。
		伊藤 順朗	副理事長	
23	茨城県	かとう きんいち	茨城県PTA連絡協議会	水戸市及び茨城県PTA安全互助会の役員、茨城県PTA連絡協議会の会長を歴任するなど、常にリーダーとしてPTA活動に積極的に取り組み、様々な工夫や新規活動を導入するなど、会員の意識啓発に尽力をした。平成28年度に開催された関東ブロック研究大会茨城大会では、準備委員会から実行委員会を立ち上げ、大会の開催意識を高めながら、運営基盤を整え、組織力を生かせる体制づくりに努力した。
		加藤 欣一	前会長	
24	茨城県	さとう ひでゆき	茨城県PTA連絡協議会	茨城県PTA連絡協議会会長として、PTA活動の活性化のために力を注いだ。また茨城県教育委員会が設置する各種の協議会や委員会の推進委員をはじめ、多くの教育関係団体の理事や委員を務めるなど、教育活動への貢献は多大である。日本PTA全国協議会の常務理事として、全国各地で各都道府県PTA協議会との連携を図り、PTA活動への理解促進や活性化に力を注ぐとともに、地元の小中学校では現在もPTA役員を務めるなど、多方面で活躍している。
		佐藤 秀行	会長	
25	栃木県	わたなべ ひろゆき	栃木県PTA連合会	単位PTA会長、鹿沼市PTA連絡協議会会長、栃木県PTA連合会会長などを歴任し、家庭教育が教育の原点であることを示し続けた。子どもとメディアに関する調査を実施し、子どもたちを取り巻くメディアの環境における今日的課題を抽出してPTA活動に活かしたほか、家庭や学校、地域が連携した児童・生徒の安全・安心な環境作りに努め、子どもたちが自らともに学び成長していけるよう、研修の場や情報を積極的に提供して子どもたちの教育環境の充実に努めるなど、PTA活動の振興に尽力した。
		渡邊 宏幸	前会長	
26	栃木県	さいとう たかのり	栃木県PTA連合会	単位PTA会長、那須町PTA連絡協議会会長、那須地区PTA協議会会長、栃木県PTA連合会会長などを歴任し、子どもたちの健全育成に尽力した。県PTA連合会と市町PTA連合会との連携を深めるため「地区情報交換会」の提案や、東日本大震災時等の児童・生徒、学校の安全確保に向けた取組など、PTA活動の充実に貢献した。会長退任後も、顧問としてPTA活動に参加するなど、県PTA連合会活動の振興に大きく寄与した。
		齊藤 隆則	元会長	
27	栃木県	みよし ひとし	栃木県私立小学校中学校高等学校保護者会連絡協議会	長きにわたり、栃木県私立小学校中学校高等学校保護者会連絡協議会会長・理事として、県内の教育関係団体と協力して、私学教育振興に貢献した。在任中は積極的に調査研究活動や会員の意識向上のための活動に取り組み、栃木県私立学校の教育と発展のためにPTAの立場から献身的に努力するなど、その功績は大きい。また、日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会副会長を務めるなど、広い視点に基づいたPTAの振興・発展に尽力した。
		三好 仁	会長	
28	群馬県	いわむら たかし	関東ブロックPTA協議会	単位PTA会長、前橋市PTA連合会会長、群馬県PTA連合会会長として、高い識見と指導力をもって、会の発展に寄与してきた。平成29年に開催された関東ブロック研究大会群馬大会では、関東ブロックPTA連絡協議会会長として、役員や担当者への配慮などリーダーシップを発揮し、大会を成功に導いた。また、日本PTA全国協議会の理事となり、群馬県PTA、関東ブロックPTAの代表として手腕を発揮し、全国のPTA活動発展に貢献した。
		岩村 隆志	会長	
29	埼玉県	にしむら ひらゆき	川越市PTA連合会	子供たちの健全育成及び教育振興のため、学校評議員をはじめ、社会教育委員、公民館運営審議委員、保護司等多くの公職及び育成会・学校応援団等の地域活動に参画しており、いずれの活動においても高い使命感を持って臨んでいる。そのため、各分野のニーズを的確に捉え、諸活動の改善や現在につながる制度・事業を創設するなど顕著な功績を残している他、後進の育成にも熱心に取り組むなど、地域の教育振興に貢献した。
		西村 平雪	元会長	

30	埼玉県	うざわ いさむ	さいたま市PTA協議会	平成26年度のPTA研究大会開催に向け、組織の編成、「ささえ合い いのち 尊び たくましく まごころつなぐ 子どもたちに」を大会スローガンに、試行錯誤と協議検討を繰り返しながら、大会運営経験のない役員、会員を導き、大会を成功裏に収めた。このように、さいたま市教育委員会と密に連携、協議、検討を重ね、子どもたちのために尽力した自身の実践は、他の模範となり、その功績は大きいといえる。
		鶴沢 勇	前会長	
31	埼玉県	おおつ ちあき	埼玉県特別支援学校PTA連合会	長きにわたり、在籍校PTA活動の充実に向けて中心的な立場で活躍し、さらに、埼玉県特別支援学校PTA連合会の活動の充実にも寄与されている。PTA本部役員の負担軽減及び全員参加型PTA活動の実現、行政並びに関係機関への働き掛けによる連携した取組の実現、児童生徒の教育環境の充実とPTA会員自らの主体的な取り組みを促す活動の実践など、尽力してきた。
		大津 千晶	元副会長	
32	埼玉県	たかざわ ひでき	蓮田市黒浜西中学校PTA	「黒浜西中宣言～ケータイ・スマホ安全利用5ヶ条～」や「防災キャンプ」に代表される、児童・生徒を取り巻く現状の課題に基づき地域とともに解決策を考えていく啓発・広報活動に取り組み、地域の児童・生徒、保護者の模範となっている。平成28年には埼玉県PTA研究大会で事例の発表を行うなど、児童・生徒の健全育成に貢献してきた。
		高沢 秀樹	会長	
33	千葉県	おおたけ はるみち	千葉聾学校PTA	単位PTAで会長を務めるなど活躍し、また、校内のPTA組織の活性化を積極的に進め、保護者間の情報ネットワークの拡大にも尽力し、その成果を十分にあげている。さらに、平成27年度から平成29年度まで、千葉県特別支援学校PTA連合会会長や関東聾学校PTA連合会会長の要職を歴任し、特別支援学校・聾学校のPTA教育活動の推進に尽力してきた。
		大竹 晴道	会長	
34	千葉県	ほしの まさあき	千葉市PTA連絡協議会	単位PTAで副会長・会長として組織の整備・充実及び運営の改善のために長年尽力し、周年行事の実行委員長や放課後子ども教室実行委員会会長、地域支援本部コーディネーターを歴任した。また、日本PTA全国大会「ちば大会」の分科会実行委員長、千葉市P連の副会長・会長として全市的に会員の意識向上や研修の充実に精力的に取り組んできた他、来年開催予定の関東ブロック研究大会「千葉市大会」の実行委員長として組織強化を図るなど、PTA活動を推進している。
		星野 正昭	元会長	
35	千葉県	たきもと ゆうこ	千葉県立富里特別支援学校PTA	本校PTA会長として長きに渡り、学校のために尽力している。学校分離の際には、本校だけでなく、分離した側の学校のPTAの発足の際にも、これまでの経験を活かし様々な形で助言するなど、組織の立ち上げに多大に尽力するなどした。本校の環境整備においても図書室の設置等、子どもの目線での環境作りを教職員とともに考えるなど多大な功績がある。
		瀧本 裕子	会長	
36	東京都	しんたに たまえ	一般社団法人東京都小学校PTA協議会	7年間という長きにわたり、一般社団法人東京都小学校PTA協議会の会長を務め、強力なリーダーシップのもと、「保護者と先生の意識調査」、「子育て支援勉強会」などの事業を立ち上げ、実施してきた。また、保護者の代表として、東京都や警視庁などのさまざまな会議に参加し、保護者の声を行政に伝えるとともに、都の施策や新しい取り組みを保護者に周知することにも尽力するなど、東京都教育委員会との信頼関係と連携の基礎を築いた。
		新谷 珠恵	元会長	
37	東京都	みねぎし みちたか	一般社団法人東京都小学校PTA協議会	足立区推薦委員として一般社団法人東京都小学校PTA協議会の活動に関わってきた実績のもと、会長として各地区や行政との連携を中心に、事業、活動を展開してきた。常に、「子供たちのために」を活動の中心に置き、親しみやすいPTAづくりに尽力してきた。足立区立小学校PTA連合会でも会長を務め、区内PTAの活性化や研修活動などにも注力した。また、足立区立小学校PTA連合会との連携を強固なものとし、一般社団法人東京都小学校PTA協議会の活動を盤石なものとした。
		峯岸 道隆	元会長	
38	東京都	いもん あきひろ	東京都公立中学校PTA協議会	「個人情報保護法」改正に関する各種ツールを整備した他、全都地区P連会長会に出席した未加盟地区会長への加盟の働きかけを行うなど、活動の活性化に貢献した。都教委の各種委員会や都幼小中高PTA連絡協議会のリーダー研修会等にも積極的に出席し、その内容等を理事会に報告すると共に、広報紙にも掲載し、未加盟地区を含めた各単位PTAへの情報提供に努めた。また、70周年記念事業には総括として実行委員会に積極的に関わり、記念事業を成功に導いた。
		井門 明洋	会長	
39	東京都	たかやま よしゆき	東京都立ろう学校PTA連合会	東京都立ろう学校PTA連合会会長として、保護者の意見を伝えるだけでなく、様々な考えを持つ会員へ行政の考えを分かり易く伝えて、理解推進を図った。東京都立特別支援学校PTA連合会の事業のひとつである相互理解のための障害種別を超えたグループ交流も提案し、現在も継続している。単位PTA会長や連合会会長の経験を活かし、PTAの顧問やアドバイザーとしても活躍している。
		高山 嘉通	前会長	

40	東京都	ごとう きゆみ	八王子市立中学校 PTA連合会	八王子市立中学校PTA連合会会長として、各校の意見を吸い上げ、市長や教育長、校長会とも直接、懇談の場を設けるなど、教育委員会、学校、保護者との連携を強化し、生徒の教育活動、生活面での充実に繋がっている。また、PTA連合会会長として、家庭教育啓発検討会や八王子市奨学審議会など、行政が設置する様々な委員会において委員を務め、現場の声を届けるという点で、市の施策形成にも多大な貢献をしている。
		後藤 貴弓	会長	
41	東京都	かない よしみつ	港区立三田中学校PTA	これまで御田小学校、三田中学校、港区立小学校PTA連合会、港区立中学校PTA連合会において13年間に渡りPTA役員を務めてきた。各小学校、中学校との相互交流や学校、地域、行政との連携協力を行なう体制や人脈を構築し、それらの連携協力体制により、青少年の健全育成に関する取り組みを地域と一体となつて行なうなど、PTA活動の活性化に大きく貢献してきた。
		金井 由光	会長	
42	神奈川県	おばら りょう	川崎市PTA連絡協議会	諸活動について、前年の踏襲に留まることなく、新たな事業の実施に積極的に取り組み、協議会の適切な運営、子どもたちの健全な成長を促し、他のPTAの模範となった。また、組織の整備・充実、運営面の改善に関することについても積極的に取り組み、見舞金給付事業規定を策定しPTA会員が安心して活動できる基盤を築いた功績は特に顕著である。
		小原 良	元会長	
43	神奈川県	もりかわ ともゆき	横浜市PTA連絡協議会	教育委員会ははじめ関係する機関とも連携し協力体制を築くとともに、本協議会会長として出席する各種審議会等では、横浜市の保護者代表を自覚した意見を表明するなど、組織の発展に大きく貢献してきた。また、平成27年には、関東ブロック研究大会横浜大会の大会長及び関東ブロック会長、日本PTA全国協議会理事として重責を担い、大会を成功に導いた。
		森川 智之	元会長	
44	神奈川県	くりはら ひでやす	横浜市PTA連絡協議会	組織が抱える課題について、長期的、組織的に改善策を講じることを大切にするとともに、組織の継続的な発展を推進する人材の発掘と育成に力を注いできた。また、教育委員会ははじめ関係する機関とも連携し協力体制を築くとともに、各種審議会等では、横浜市の保護者代表を自覚した意見を表明するなど、組織の発展に大きく貢献してきた。また、指定都市情報交換会横浜大会の会長、関東ブロック研究大会横浜大会の実行委員長などの重責を担い、大会の成功に力を注いできた。
		栗原 秀泰	元会長	
45	神奈川県	いくた まみ	横浜市PTA連絡協議会	いじめ問題や中学校給食問題等の大きな課題に取り組み、横浜市教育委員会および関係諸機関とも連携し、しっかりとした協力体制を築くとともに、本協議会会長の立場から、横浜市の保護者代表としての意見を伝え、組織の発展に大きく貢献してきた。その他、広報紙の見直しを図り、協議会としての情報ツールとして幅広く活用できるものに改編した他、関東ブロック研究大会横浜大会の実行委員として各分科会の取り纏めをし、大会の成功に力を注いできた。
		生田 麻実	前会長	
46	神奈川県	さくらい けん	横須賀市立長浦小学校 PTA	父親の組織である「おやじクジラの会」で中心的な役割を果たし、また、ケイタイ・ネット安全推進委員会の委員長を務めるなどし、市内各校で実施された児童と保護者を対象とした安全教室において講師を務めるなど、インターネットの安全な使用について啓発を行い、それらを通じて児童生徒の健全育成と、PTA活動の活性化に尽力した。
		桜井 健	会長	
47	神奈川県	きのうち ひろこ	神奈川県特別支援学校 肢体不自由教育校 PTA連合会	特別支援学校が担うべき課題を的確に把握しPTAとして地域との連携を大切にしながら主体的に行動してきている。特に地域を巻き込んだ様々な実践など、人との関係性を重視した取り組みを行ってきた。そうした姿勢が、後に続く者にとってのしるべとなるなど、活発なPTA活動に貢献してきた。
		木内 博子	会長	
48	神奈川県	さいとう たつえい	川崎市PTA連絡協議会	川崎市PTA連絡協議会会長として、PTA活動の健全な発展、保護者に対する家庭教育の推進、子どもたちの健全な成長へつなげる取り組みを行っており、その功績は顕著である。また、平成28年度において、PTAの会員の個人情報に関する取扱いについて、全市協議会としていち早く取り組み、個人情報取扱規則及び細則改正を行い、他のPTAの模範となるように努めた功績は大きい。
		齊藤 植栄	前会長	
49	新潟県	ほりかわ よしのり	新潟県小中学校 PTA連合会	単位PTA、妙高市小中学校PTA連合会、県小中学校PTA連合会、日本PTA全国協議会において役員等を務め、新潟県だけでなく、全国のPTA活動にリーダーシップを発揮してPTA活動の活性化に尽力した。また、スマホやコミュニケーション等の教育課題に対して、県市町村と県小中学校PTA連合会全体で児童生徒の「携帯禁止提言」など実践的継続的な取組を行い、会員の危機意識を高めるなど、児童生徒の健全育成に貢献した。
		堀川 義徳	前会長	

50	新潟県	ひらいし しょうきち	新潟県小中学校PTA連合会	単位PTA、各連合会において役員を務め、また、日本PTA全国研究大会新潟大会の実行委員長にも就任し、日本PTA全国協議会と連携を図りながら、全国大会企画運営の中心的役割を果たしている。部活動の在り方や働き方改革等、子どもや保護者を取り巻く教育課題に常に高い関心をもち、積極的に関わって情報収集し、会員と情報共有している他、熊本地震や糸川大火の際には、県小中学校PTA連合会傘下の会員の力を結集し、義援金を被災地に送るなどした。
		平石 祥吉	会長	
51	新潟県	おおみや かずまさ	新潟県小中学校PTA連合会	新潟県小中学校PTA連合会会長として、県小中学校PTA連合会から独立後の組織強化と組織改革に向けた新しい取組に力を発揮した。特に教育問題委員会、環境対策委員会、広報委員会の三委員会を立ち上げたことは、今後の新潟県小中学校PTA連合会の発展を見据えた特筆されるべき組織改革として評価され、その功績は大きい。
		大宮 一真	前会長	
52	新潟県	たなか かずあき	新潟県小中学校PTA連合会	日本PTA全国研究大会新潟大会の実行副委員長として、県小中学校PTA連合会と新潟県小中PTA連合会の連携強化に努めた。また、新潟県小中学校PTA連合会会長として、本部役員や関わってきた方々への感謝を常に忘れず、総会や委員会でも参会者の意見や思いを大切にされた運営を心がけるなど、新潟県小中学校PTA連合会全体の運営に貢献してきた。
		田中 一昭	会長	
53	富山県	やしま ひろひさ	富山県PTA連合会	富山県PTA連合会の会長として、組織の活性化を意識し、事業の充実・発展を見据え活動した。日本PTA全国協議会では、評議員や常任幹事として全国と東海北陸ブロックばかりではなく、富山県のPTA活動の充実・発展に努めるとともに、パイプ役となってそれぞれのPTA組織との連携・強化に向けた活動を積極的に推進した。
		八嶋 浩久	元会長	
54	富山県	こめや しんいち	富山県PTA連合会	東海北陸ブロック研究大会富山大会の交流委員長として、ブロック全体の活性化に向け企画・運営に積極的に携わった。また、ブロックと県のパイプ役として情報や取組の共有に努め、富山県PTA連合会の会長として、常に組織の活性化を意識し、事業の充実・発展を見据えた運営に当たるなど、PTA活動の充実に尽力した。
		米屋 慎一	前会長	
55	富山県	やぶ みちこ	富山県PTA連合会	砺波市PTA連絡協議会の母親委員会、富山県PTA連合会の母親代表副会長を務め、常に女性保護者の立場や考えを施策や活動に生かそうとしてきた。また、「とよま親学び推進協議会」の委員をはじめ、多岐にわたる委員を歴任し、女性保護者の知見を加えて積極的に提言を行うなど、活動の活性化に尽力した。
		藪 道子	前副会長	
56	石川県	おおしま じゅんこう	石川県PTA連合会	単位PTA会長、金沢市PTA協議会会長、石川県PTA連合会会長並びに日本PTA全国協議会、社会教育団体の要職に就き、PTA活動の充実・発展に努力を重ねた。特に、全国的課題であったいじめやケータイ使用についてと、親子の会話に関するそれぞれの啓発資料を整備し、子どもたちを取り巻く生活環境の改善に全県組織として取り組んだ。このことは、県・市・町PTA連合会相互の連携の強化にも繋がる成果となった。
		大島 淳光	元会長	
57	石川県	きたがわ かずや	石川県PTA連合会	単位PTA会長、金沢市PTA協議会会長、石川県PTA連合会会長、東海北陸ブロック協議会会長、日本PTA全国協議会常務理事・副会長を歴任し、県連合会の未来を見据えた組織・事業・財政と全般にわたる改革と改善を断行し、今後連合会がますます充実した活動を展開できる基礎を築いた功績は大きい。この間、東日本大震災復興支援事業「笑顔プロジェクト・絵灯籠大作戦」(宮城県名取市)を継続実施し、絵灯籠の作品募集、絵灯籠設置ボランティア活動を行った。
		北川 和也	会長	
58	石川県	いとう ただし	全国ろう学校PTA連合会	北陸地区聾学校PTA連絡協議会の石川大会を保護者主体で運営し、成功させた。さらに、平成31年度に予定されている富山聴覚総合支援学校が主管となる全国大会「家庭教育を考える部会」への積極的な支援も視野に入れ、会員の意識高揚を念頭に、子息の卒業後も顧問という形で本校育友会の活動に参加している。特に関東地区のみで行われていた総会を各地で開催できるようにし、各地区のPTA活動の活性化に与えた影響は大きい。
		伊藤 忠	会長	
59	福井県	やまもと ひさのり	福井県PTA連合会	PTA活動に真摯な姿勢で取り組み、常に学校と保護者の橋渡し役となるなど学校経営に寄与し、市P連さらに県P連などさまざまなPTA活動に積極的に関わり続けてきた。「福井県PTA連合会60周年記念事業」の実行委員長として、大会を大成功に導いた他、東海北陸ブロック研究大会福井大会開催に向けて尽力し、さらに東日本大震災支援活動として多くの募金活動を行うなど、精力的に活動した。
		山本 久徳	元会長	

60	福井県	たもと のりやす	福井県PTA連合会	多くの役員、執行委員の信頼を得ながら、役員会、執行委員会をまとめ上げ、特に、会長と校長だけが保護者や生徒からメールで悩み事の相談を受けることができる「丸岡中学校生活相談サイト」の立ち上げ、夜10時以降は通信機器をさわらないようにする丸岡中学での生徒と保護者のルール「to22宣言」の策定に尽力した。また、東海北陸ブロック各県市とのつながりを大切に、東海北陸ブロック研究大会福井県敦賀大会の準備委員会を立ち上げ、その礎を作った。
		田本 憲恭	前会長	
61	福井県	たちばな ひであき	福井県PTA連合会	単位PTA、各連合会において、会長や理事の要職を務めるなど長年PTA活動に献身的に関与し、活動のリーダーとして尽力したことが、現在の活発なPTA活動の基盤となっている。また、学校だけでなく、鯖江市、丹南地区、福井県と広い視野で子どもたちの教育に関わっており、特に、第73回日本PTA東海北陸ブロック研究大会福井県敦賀大会大会長として、また東海北陸ブロック長としても会員相互のつながりを重視し、大会を成功に導いた。
		橋 英亜機	会長	
62	山梨県	しんぼう てつお	山梨県PTA協議会	小中学校および高等学校の幅広いPTA活動に関わり、豊富な経験と見識で、PTA協議会をバランス感覚のある運営で活動の活性化を図った。PTA会員の大人を対象とした、学校教育の理解に関する学習活動、家庭教育に関する学習活動について、会員の参加等を工夫したり、積極的な実践活動を行うなどした。青少年の非行・被害防止の取り組みにも積極的に参加し、さらにPTA活動を通じて、小中学生のスマホ利用の適正化や、保護者への啓発活動にも熱心に取り組んだ。
		進邦 徹夫	会長	
63	山梨県	みつい くみこ	山梨県PTA協議会	山梨県PTA協議会において長期にわたって活動に貢献し、また、公益社団法人日本PTA全国協議会の会長要請により諮問機関に所属し、PTA活動を支えた。いじめ・不登校対応必携(教職員用指導書)作成に関わった他、長期にわたるPTA活動の実践経験から、公益社団法人日本PTA全国協議会が発刊した「PTA応援マニュアル」の作成においても寄稿を依頼されるなど、数々の功績を残した。
		三井 久美子	前会長	
64	長野県	やまざき ひろみち	長野県PTA連合会	第43回日本PTA関東ブロック研究大会長野大会の開催にあたり、前年度から2年間にわたって副実行委員長を務めた。実行委員長と連携を密にしながら各部会を取りまとめるなど、大会を成功に導いた功績は大きい。また、子供達の教育活動がより充実するための支援を老人会をはじめ地域住民に呼びかけるなど、地域と学校との橋渡しを長年続け、学校訪問や懇談会などを通して、地域や学校の連携協働に積極的に関わった。
		山崎 弘道	元会長	
65	長野県	くるみざわ こうじ	長野県PTA連合会	長野県PTA連合会において広報委員として、PTAへの理解や外に向けての発進力を発揮してきた。また、会長として、県内のPTA活動の充実や発展に努力する一方、公益社団法人日本PTA全国協議会理事を務めた他、青少年インターネットの安全な利用についても外部団体とも積極的に連携を取りながら取り組むなど、全国的にネットワークを築き、PTA活動の振興に貢献してきた。
		胡桃澤 公司	元会長	
66	長野県	あおき じゅうろう	長野県PTA連合会	事業面と財政面との均衡などを始め、将来の少子化を見据えた上で、現在の課題について検討し、新たに改革委員会を立ち上げ、更に具体的な方向について議論する場を設けた。また、PTA活動の本務は会員同士の学び合いにあるとし、子育て委員会による母親リーダーの研修会などで自ら講師を務めるなど、研修のよりよい在り方について積極的に支援するなど、PTA活動の振興に大きく寄与した。
		青木 十郎	元会長	
67	岐阜県	せんだ ひとし	岐阜県PTA連合会	単位PTA会長、連合会会長として、長きにわたりPTA組織の要職に就き、PTA活動に尽力した。また、平成26年度からは、岐阜県PTA連合会顧問として組織運営の助言・指導にあたっている。理論に基づいた素早い判断力の下、役員及び会員からの信頼つつ、会員の意見・声をよく聞き、フットワークよく動き、行動に移したことで、PTA活動を発展させた功績は大きい。
		千田 均	元会長	
68	岐阜県	なかやま たかし	岐阜県PTA連合会	単位PTA会長、連合会会長を長きにわたり務め、論理的で建設的な考えのもと、主体的な活動を推進することに力を注ぎ、組織の凝集力を高め信頼関係を構築してきた。特に、被災地との交流活動では自ら率先してリーダー的役割を果たしており、この交流は今もなお継続した事業となるなど、PTA活動の振興に尽力した。
		中山 貴志	元会長	
69	静岡県	かわさき ひでかず	静岡県PTA連絡協議会	熱海市PTA協議会の会長、静岡県PTA連絡協議会会長として、県内・市内のPTA活動の充実を図るとともに、子どもたちの立場に立った教育環境の整備をはじめとした学校教育及び社会教育の支援活動に努め、常に「PTAは学校の最強の応援団」をモットーとして唱え、様々な活動に尽力した。全国PTAの情報を集め、会員や行政等との連絡調整を広く行い、この精神を熱海市だけでなく、地域や静岡県全体にも広めるために、顧問という立場から助言することにも取り組んだ。
		川崎 秀和	前会長	

70	静岡県	やなぎまち なおみ	静岡県PTA連絡協議会	熱海市PTA連絡協議会の家庭教育委員長、顧問、静岡県PTA連絡協議会副会長として、保護者同士の交流やコミュニケーションを図るなど、PTA活動の充実に尽力した。また、静岡県PTA研究大会では、県と市とのパイプ役として、連絡調整を進んで行うと共に、建設的な意見を述べるアドバイザーとして精力的に活動し、大会の成功に大きく尽力した。
		柳町 直美	前副会長	
71	静岡県	さの よしのり	静岡県PTA連絡協議会	第44回関東ブロック研究大会静岡大会の実行委員長として、家庭教育力の向上をめざす組織の基盤を確立した。また、市・県・関東・全国のPTA活動振興の広い視野に立ち、家庭教育の現状を把握するための調査・分析を実施し、家庭教育力の向上をめざした講演会・実技演習等を通して、会員相互の学びの充実に貢献するなど、各組織の情報収集や連絡調整を行い、PTA活動の活性化に貢献した。
		佐野 嘉則	元会長	
72	静岡県	やまだ じゅり	静岡県PTA連絡協議会	保護者同士のつながりをサポートし、積極的なPTA活動の推進に大きく寄与した。学校との関係においては、教職員との連携・意思疎通を大切にし、円滑な協力関係を構築し、PTAの組織運営や子供たちの教育環境づくりに大きく貢献した。また、34の単位PTAとのコミュニケーションを第一に考えて連携を図り、地域全体を視野に入れたPTA組織の円滑な運営に尽力した。
		山田 樹理	元副会長・ 元家庭教育委員長	
73	愛知県	ひらおか まさのぶ	愛知県小中学校PTA連絡協議会	愛知県の教員の多忙化解消プロジェクトチームにも参画し、積極的な情報発信をし、教員・保護者・児童生徒の全てにとって望ましい多忙化解消の形をつくることに寄与した。単位PTA役員、各協議会の会長歴任し、児童生徒の携帯電話・スマートフォンの使用や教員の多忙化解消等の今日的な課題に継続して取り組んできた。また、ローカルな問題から広域的な問題にまで視野の広いPTA活動を行ったことで、地域の児童生徒の健全な育成に大きく貢献した。
		平岡 将暢	前会長	
74	愛知県	かとう たかやす	愛知県小中学校PTA連絡協議会	「できる時にできることを」をPTA活動のコンセプトとし、無理をせず、長く続く活動を地道に粘り強く推進した。また、課題に対して、具体的な活動をもって対応し、特に、地域と連携した活動について、学校、保護者とをつなぐコーディネーターとして力を発揮した。また、平成30年度に開催される日本PTA東海北陸ブロック研究大会に向けて、準備委員のリーダーの一員として、広く県内各PTAにこれからのPTA活動の方向性を示した。
		加藤 貴恭	前副会長	
75	愛知県	くまだ みつお	名古屋市立小中学校PTA協議会	単位PTA、各協議会の常任理事・副会長・会長を歴任し、PTA活動の活性化や子どもの安全確保に大いに寄与してきた。PTA会員の資質向上を願い、家庭教育セミナーをはじめ、親子ふれあい休日、オヤジクラブイベントなどに取り組むなど生涯学習の理念の基、成人教育活動を発展させた。また、各種団体等からの数多くの役職を依頼されたが、その職務に対してもPTAの立場から建設的、かつ積極的に取り組み、PTA活動の発展に大いに貢献した。
		熊田 光男	元会長	
76	愛知県	てらもと みつる	名古屋市立小中学校PTA協議会	名古屋市立小中学校PTA協議会協議会会長として、市全体のPTA活動の活性化に努め、また、日本PTA全国協議会会長他要職を歴任する中、全国を飛び回り、全国のPTA活動の充実に、関係団体との連携に努め、行政機関への働きかけなど、全国的なPTA活動に尽力した。指導力、行動力、判断力を活かし、「第72回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会 名古屋大会」では、大会会長として手腕を発揮し、準備から大会開催まで、東海各地から2,000名の関係者を集めるなど多大な成果をあげた。
		寺本 充	前会長	
77	三重県	あんどう だいさく	三重県PTA連合会	三重県PTA連合会会長や日本PTA副会長、そして第61回日本PTA全国研究大会みえ大会の実行委員長を歴任した。全国研究大会みえ大会においては、「オール三重」を目指して、県内の各郡市PTA連合会に加え様々な立場にある方々と意識疎通を図り、団結させることでみえ大会を成功に導いた。また、県PTAの組織を、郡市からの代表である常任幹事が課題を吸い上げ、議論し、共に改善に導くような組織改編が、現在の活発な組織につながった。
		安藤 大作	元会長	
78	三重県	はらだ ひろのぶ	三重県PTA連合会	三重県PTA連合会会長、三重県PTA安全互助会副理事長、第61回日本PTA全国研究大会みえ大会の副実行委員長を歴任し、組織をより機能的かつ効率的な運営ができるよう、3つのブロック協議会をつくり、各ブロックがそれぞれの地域性や環境に応じた事業を展開できる組織を構築した。これにより、PTA会員一人一人が子どもたちを取り巻く課題を共有し、教育環境を整えるための意識の高揚につながった。
		原田 浩伸	前会長	
79	滋賀県	まつうら ようこ	公益社団法人日本PTA全国協議会	永年にわたりPTA活動に携わる中で、役員・会員等の人つながりをモットーにして取り組んできた。日本PTA近畿ブロック研究大会滋賀県大会長として、実行委員長の相談役として大会の成功に大きく貢献した。また、母親ならではの視点で県PTA活動の運営に関わり、特に、子どものスマホにかかわる課題について県教育委員会と連携し、第1回滋賀県スマホサミットを滋賀県PTA大会で開催するなど、大きな功績を残した。
		松浦 洋子	元業務執行理事	

80	滋賀県	たちばな まどか	野洲市PTA連絡協議会	単位PTA活動、各連絡協議会において要職を歴任して精力的に活動してきた。全国の研修会にも積極的に参加しており、市の進める学校応援団活動において、北野小学校ではコーディネーターとして、また、野洲中学校では学校応援団長として、学校・地域・家庭をつなぐ活動を率先して行っている。また、保護者代表として教育委員会委員を務めるなど、PTA活動や地域の活動、行政の委員等に率先して参加するとともに、役員としての職責を遂行するなど、多くの実績を残した。
		橋 円	会長	
81	京都府	おせ さだこ	京都府PTA協議会	子どもの安心・安全や地域の教育力の向上のため、長年にわたり、単位PTA会長や協議会の要職を歴任し、PTA活動の活性化に尽くしてきた。特に、京都府PTA協議会副会長として協議会を中心的に支え、母親委員長として、生涯学習としての学びの重要性、家庭教育のあり方、地域社会との連携の必要性など、各都市連PTAに発信し、組織を固めて運営してきた功績は大きい。
		尾瀬 貞子	元副会長	
82	京都府	くさかべ きよし	京都市PTA連絡協議会	小学校、中学校、高等学校においてPTA会長を務め、各校種の連絡協議会においても会長職等を務めた。その間、家庭教育の重要性を会員に対して発信し、京都市PTAフェスティバル等でも展示等を通じて保護者の資質向上に精力的に取り組み、学校教育にも保護者の視点から積極的に意見を述べるなど、京都市が掲げる「地域ぐるみの教育」の推進のために貢献した。また、後進の会長に対しても助言を行うなど、PTA活動の活性化に大きく寄与した。
		日下部 潔	元会長	
83	京都府	たけだ たかし	京都府PTA協議会	単位PTAにおいて、地域のPTA活動に積極的にに関わり、PTA会員の意識や活動を向上させることに尽力した。また、京都府PTA協議会で活躍し、子どもと地域を結びつけ、子どものふるさとへの愛着を高め、地域の活性化を図るとともに、子どもの安心、安全を守る活動を府内全域を対象に取り組んだ。日本PTA全国研究大会開催のための実行委員会設立などに向け、大会の組織づくりに大きく貢献するなどの功績を残した。
		竹田 隆司	元会長	
84	京都府	ながや ひろひさ	京都市PTA連絡協議会	京都市PTA連絡協議会会長や、京都市立幼稚園PTA連絡協議会会長など、京都市全体のPTA活動を推進する要職を務め、学校教育においては、自ら保護者として積極的に参画するとともに、他の保護者に対しても学校と協力することの重要性を啓発するなど、京都市が進める学校・保護者・地域が一体となった教育の推進に大きく寄与した。また、家庭教育の重要性を訴え、いじめやケータイトラブルなどの問題に対して、研修会を開催するなど、保護者の意識向上に大きく貢献した。
		長屋 博久	元会長	
85	京都府	とんぐう かおる	京都府PTA協議会	単位PTA本部役員、京都府PTA協議会理事、副会長兼母親委員長を歴任し、地元のPTAの組織づくりに尽力したことにより京都府PTA研究大会を成功に導いた。また、後の京都府内全体のPTA活動推進にもつながる地元の都市連PTA連絡協議会の設立に尽力した他、生涯学習としての学びの重要性、家庭教育のあり方、地域社会との連携の必要性など、各都市連PTAに発信し、組織を固めて運営するなど、多くの功績を残した。
		頓宮 薫	元副会長	
86	大阪府	ささき かずとも	大阪府PTA協議会	各PTA協議会の役員として積極的に組織の運営に携わり、各協議会の振興に寄与した。特に、近畿ブロックPTA協議会大阪府大会に向けて、大阪府PTA協議会の活動を広報連携の強化を図ることにより大会を成功に導いた。また、各PTA協議会において、より良い組織運営ができるように会則改正等改善を積極的に行った。さらに組織的な活動に加えPTA会員一人一人の声にも耳を傾け単位PTAの振興にも寄与するなど、大阪府のPTAの振興に寄与した功績は大きい。
		佐々木 一智	会長	
87	大阪府	ごとう みつひろ	大阪府PTA協議会	伝統と進取のバランスを常に念頭に置き、保護者のPTA離れの対策等に配慮しながら、PTA活動に従事した。特に、活動の中で「PTAが任意加入の団体である」という事実に向き合い、所属学校PTAにおいて保護者に対して説明を丁寧に行ったことは、全世帯のからのPTA加入という結果に結びついた。また、会則等改正を行うことで多様化する世帯の実情に合わせた諸改革を推進するなど、PTAの振興に寄与した功績は大きい。
		後藤 充弘	理事	
88	大阪府	かわむら さよこ	大阪府PTA協議会	保護者への「家庭学習のすすめ」のリーフレット作成と啓発、スマホ問題への警鐘、講演会の実施等を通して、児童生徒・保護者・地域全体の人々に働きかけ、多岐にわたる課題に精力的に活動をすすめ、児童生徒の課題解決、学校と地域のパイプ作り、地域の絆づくり等々に取り組んだ。さらに学校のPTA活動のみにとどまらず、市全体や府PTAの活動など広範囲にわたってPTA活動の活性化に寄与した功績は多大である。
		川村 早余子	前副会長	
89	大阪府	おもや としあき	大阪府PTA協議会	大阪府PTA協議会役員会において、例年の活動が踏襲されがちな中で、会則改正のみならず審議事項に対しても、つねに問題提起をし、積極的に改善に取り組んでいる。また、近畿ブロック研究大会大阪府大会では2年間にわたり分科会運営担当としてリーダー的役割を担い、大阪府大会を成功に導いた。加えて、地元のPTAにおいても、児童生徒や地域をつなぐ取組みを積極的に行うなど、学校・市・大阪府のPTAの振興に寄与した功績は大きい。
		面家 季明	前副会長	

90	大阪府	みやもと あつし	大阪府立支援学校 PTA協議会	民主的、自主的に運営される組織であることをめざして、「規約・規定の見直し」「皆で繋ぎながら継続・発展していくための「役員・委員選出方法の見直し」、負担軽減と権限の分散のため「役割の分担と明確化」に取り組むなどした。連合会への加盟と他校との連携、学校や児童・生徒の支援、安全安心な学校づくりなどバランスの良い活動を心掛けるなど、学校及び大阪府のPTAの振興に寄与した功績は大きい。
		宮本 敦司	会長	
91	大阪府	ささがわ まさあき	大阪市PTA協議会	単位PTAや各協議会において会長等の役員を歴任し、学校・保護者・地域の連携の中心として活躍し小学校・中学校・区のPTA活動を充実・発展させた。大阪市教育委員会はじめ関係諸団体と連携を密にし、大阪市のPTA活動の充実はもとより大阪市の教育の発展に大きく寄与した。あわせて、公益社団法人日本PTA全国協議会業務執行理事にも従事し全国のPTA活動の推進に大きく寄与した。
		笹川 正明	相談役	
92	大阪府	はら あけみ	堺市PTA協議会	自ら楽しんで活動をし、活動者も楽しく参加ができるよう工夫を凝らした運営を常に検討している。市Pホームページへ寄せられる意見へも真摯に対応している。また、PTAが地域のかも借りながら活動が活性化するように他団体との関係も築いて活動を進めるなど学校・市のPTAの振興に寄与した功績は大きい。
		原 明美	会長	
93	兵庫県	おのえ こういち	公益社団法人 日本PTA全国協議会	単位のPTA会長から姫路市連合PTA協議会会長、また、兵庫県PTA協議会や公益社団法人日本PTA全国協議会会長など、所属の学校だけでなく日本全国の児童生徒の教育環境の改善や、行政とPTAとの連携や協力関係の構築のために尽力した。特に、学校給食の普及といった環境改善のために働きかけを行った実績は大きく、それらをはじめとした取組により、児童・生徒の健全育成に大きく貢献した。
		尾上 浩一	元会長	
94	兵庫県	にしけ ゆきお	兵庫県PTA協議会	単位PTA会長として、小学校の統廃合に真摯に向き合い、保護者・地域の声を届けながら、PTA組織の整備に大きな役割を果たした。また、地域との連携・絆を重視し、東日本大震災の被災児童との交流を進めるなど、積極的なPTCA活動を展開した。さらに近畿ブロック協議会理事等を歴任し、現在は兵庫県PTA協議会会長として、卓越した行動力で兵庫県の牽引者となるとともに、来年度の日本PTA全国研究大会兵庫大会の実行委員長として、実施体制の整備に努めている。
		西家 幸男	会長	
95	兵庫県	たにはら はるみ	豊岡市PTA連合会	単位PTA及び県市PTAの連合体の要職に就き、その組織の状況に合わせて、各種大会・研修会等への積極的参加を呼び掛けて取組を活性化させるなど、広い視野でPTA活動に尽力した。関係PTAや参画する他団体との橋渡し役として、PTAと地域との連携強化に尽力した他、平成31年度開催のPTA全国大会に向けた実行委員会立ち上げ等にも注力した。
		谷原 晴巳	会長	
96	兵庫県	たけうち かずと	神戸市PTA協議会	神戸市PTA協議会会長として、PTA活動の充実・活性化に力を注ぎ、他団体との交流・連携を積極的に行うとともに既存事業を見直しながら、明るく楽しい魅力あるPTA活動を推進した功績は特筆すべきものである。また、PTA活動以外にも市の各種委員等を歴任し、地域社会の発展のため広範囲にわたって活躍してきた功績は大きなものである。
		武内 一登	元会長	
97	奈良県	きたの ゆうはん	奈良県PTA協議会	平成28年度第42回日本PTA近畿ブロック研究大会奈良大会の会長として、橿原市内6分科会に近畿ブロックPTA協議会の会員1,800名が参加した大会を企画・運営した。長年にわたる単位PTA、PTA連合会、ブロック連合会で培った経験を活かした運営により研究大会の責任者としてリーダーシップを発揮し、大会を成功に導くなど、PTAの振興に寄与してきた。
		北野 宥範	前会長	
98	奈良県	おくもと よしふみ	奈良県PTA協議会	第42回日本PTA近畿ブロック研究大会奈良大会の実行委員長として、開催の2年前より場所や記念講演者の選定、オープニング等の決定に意欲的に取り組み、近畿ブロックPTA協議会会員1,800名の参加者に感動を与える具体的な企画・運営にあたった。また、葛城市PTA、當麻小学校PTAの会長としても、長年にわたり子どもたちや保護者のことを第一に考え、様々な取り組みを行ってきたことでPTA活動の活性化に貢献した。
		奥本 佳史	前副会長	
99	和歌山県	たきがわ よしひこ	和歌山県PTA連合会	和歌山県PTA連合会の会長に就任し、PTA指導者としての確かな判断と指導力により県内各郡市PTA連合会(全12)をまとめ、社会教育並びに学校教育に多大な貢献をしている。学校・地域・育友会が一体となって取り組んでいる学社融合活動において、保護者と地域をつなぐ役割を果たしており、地域の補導委員会と合同で、子供たちの非行防止と健全育成のため、定期的な夜の見回りや地域の祭りでの見回りの協力を行っていることもその一つである。
		瀧川 嘉彦	会長	

100	和歌山県	ひがし しょうご	和歌山県PTA連合会	単位PTAや連合会の役員として、適切な助言や、会員相互の連携等学校と家庭との風通しが良くなるよう、学校内事務局とも連携を図りながら取組を推進した。学校内での育友会広報紙の優秀賞受賞や活動の発信を行うことで、育友会組織の活性化を図るとともに、組織の団結にもつながってきている。育友会と学校、地域との連携、また有田地域はじめ、和歌山県全体としてその活動を通して、常に先頭に立ち組織の強化と活性化に努めてきた功績は大きいといえる。
		東 昭吾	副会長	
101	鳥取県	おおろ のぶゆき	鳥取県PTA協議会	鳥取県PTA協議会としての役割を常に考え、各小中学校のPTA活動や郡市PTA連合会の活動の活性化のための場であること、小中学校の義務教育期間だけでなく、幼児期から高校、成人するまでの子どもの成長を大切に考え、地域に生きることも達のために、PTAとしてできることを模索してきた。そのひとつが“とっとり子どもサミット”の企画・開催であり、鳥取県教育委員会と協働し全県下での取組とするために尽力した。
		大呂 延幸	会長	
102	島根県	たなか こうたろう	島根県PTA連合会	身近な問題を、県PT連会長として県内全域に広げ、県としての問題意識として具体的な取り組みにつなげる努力を継続し、その成果が現在の県内のPTA会員の活動に活かされている。PTAの各研修大会に数多く参加し、その成果を県内に広めるよう尽力した。特に、県内会員に、このような研修会に積極的に参加するよういろいろな場で啓発し、会員の意識改革に努めた。
		田中 耕太郎	元会長	
103	岡山県	つちや たかし	岡山県PTA連合会	単位PTA、市PTA、県PTAの活動においてアンケート調査・各研修会に尽力し、家庭教育及び地域の教育力の向上を図ってきた。第45回日本PTA中国ブロック研究大会岡山県大会を開催し、大会会長として卓越した見識と調整力、実行力、指導力を発揮、また県内の活動全般にわたり、事業・活動の拡大、推進に多大なる貢献、その功績は甚大である。役職退任後も顧問として、それぞれのPTAの組織の在り方について常に指導、助言を行った。
		土屋 隆士	元会長	
104	岡山県	ふじたに ゆきひろ	岡山県PTA連合会	県内の会員に対して「教育の基本は家庭である」ことや、「人との関わりの中で人間性は養われる」ことを訴え、社会全体で子どもたちを育てる事の必要性と重要性についての意識の高揚に努め、岡山県PTA連合会の会長としてリーダーシップを発揮した。教育環境の動向について情報提供を行うと共に、県内PTAにおける活動の実態や意識についての調査・取りまとめを行い、郡市P連や単位PTA活動の更なる発展と充実にご寄与した。
		藤谷 幸弘	元会長	
105	岡山県	ふくだ だいすけ	岡山市PTA協議会	政令市移行に伴い、小学校と中学校の組織を一つに統合した際に中心的役割を担った。子ども達の健全育成を願い、より良いPTAを目指し事業推進に尽力した。会長として、リーダーとして多くの会員を束ねて卓越した見識と実行力・指導力を発揮し、PTA活動全般にわたり事業活動の拡大や推進に多大なる貢献をした。
		福田 大輔	会長	
106	岡山県	すずき のりこ	岡山県立 岡山東支援学校 PTA	PTA会長としての長年の経験を生かし他校PTA会長の相談に乗るなど、自校を含めたPTA活動において広く活躍している。また、知的・肢体両部門の中四国・全国の各種大会に参加することで広範囲にわたる情報収集を行い、必要な情報や有意義な取組について、県内支援学校PTAへ積極的に発信するなど、一学校にとどまらず、県内の特別支援学校全体の進展に大きく貢献している。
		鈴木 紀子	会長	
107	広島県	ひらた せいじ	広島県PTA連合会	福山市PTA連合会会長として、福山市教育委員会との連携を深め、特に小中一貫校教育に関する地元保護者代表として積極的に意見表明を行った。また、広島県PTA連合会会長としては広島県教育委員会、広島県高等学校PTA連合会及び広島市PTA協議会等の関係団体とも緊密な連携・協力体制を作り、広島県PTA連合会の活動の充実に尽力した。特に、新たに単位PTA役員になった会員をはじめ、多くの役員の助けとなるよう、「PTA活動の手引き」を初めて作成するなど、多くの会員のPTA活動に大きく貢献した。
		平田 誠治	元会長	
108	広島県	まつもと えぎょう	福山市PTA連合会	福山市PTA連合会会長として、中学生の自転車通学時のヘルメット着用の義務化について、各単位PTA会長への理解を促すとともに、役員一同で福山市教育委員会へ陳情する等、市内全校ヘルメット着用義務化の礎を築き上げ、生徒の命を守るために大きな役割を果たした。また、平成29年度の日本PTA中国ブロック研究大会広島県ふくやま大会の大会長を務め、重責を果たした。
		松本 恵行	会長	
109	広島県	おおば ゆみこ	東広島市立中央中学校 PTA	単位PTA、PTA連合会における活動の他、地域の子育て、食育、青少年の健全育成や危機管理に関わる会議等の委員など、各方面で精力的に活動してきた。東広島市PTA連合会の広報紙の紙面の拡大や発行頻度を増やして充実に努める等、自身のアイデアとリーダーシップによってPTA活動の充実に努めたほか、平成23年度「第59回日本PTA全国研究大会ひろしま大会」等においてはネット環境の改善を目指す取組について実践報告を行うなど、PTA活動の振興に努めた。
		大場 由美子	前会長	

110	広島県	やまだ むつひろ	世羅町立甲山小学校 PTA	「全ては子供たちのために」という理念のもと、PTA活動及び教育活動に貢献した。特徴的な功績は、広島県PTA連合会会長として、携帯電話、スマートフォン、ゲーム等に関する諸問題に対して家族で取り組む「アウトメディアチャレンジ」事業を開始し、自校においても児童のよりよい生活習慣を定着させるため、「ノーメディアデー」の取組について保護者の理解・協力を得て実施した。
		山田 睦浩	前会長	
111	広島県	あかぎ しゅんじ	広島県PTA連合会	広島県PTA連合会副会長及び理事として、県内PTA活動に多大な貢献を果たすとともに、神石郡PTA連合会顧問として、広島県PTA連合会と都市PTA連合会とのパイプ役となり、神石郡PTA連合会の発展に寄与した。広島県PTA連合会副会長として、平成23年度の「第59回日本PTA全国研究大会ひろしま大会」の開催にあたり、県内PTA関係者の連携強化に貢献するとともに、神石郡PTA連合会の顧問として、町内の単位PTAに対し、会則の改善等、指導的役割を果たした。
		赤木 俊二	元副会長	
112	山口県	きくしげ たかゆき	山口県PTA連合会	単位PTAやPTA連合会において組織の整備・充実、運営に尽力した。岩国市PTA連合会においては、組織の見直しや地域との連携を図り、また、県PTA連合会では、自然環境学習やコミュニケーション能力を高めるための体験学習である「ドリームチャレンジャー」の企画、運営に長年関わり、子どもたちの健全育成に貢献してきた。さらに、第48回日本PTA中国ブロック研究大会岩国大会では、実行委員会準備委員会を立ち上げ、円滑な運営や体制づくりに積極的に取り組んだ。
		菊重 隆之	前会長	
113	山口県	はやし しゅんさく	山口県PTA連合会	PTA組織の運営や行事等の推進に尽力した。特に、県PTA連合会の会長として、県内外の研修会に積極的に参画したり、参加したりすることを通して、役員としての見識を深めるとともに、他の役員の見解をまとめ、活動の充実を図った。また、平成24年度の中国ブロック研究大会しものせき大会では、大会会長として運営の中心的役割を果たし、大会の成功に貢献した。
		林 俊作	元会長	
114	山口県	ひがしはら みのる	下関市立勝山中学校 PTA	子どもたちの健全育成を第一に考え、地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを支えるため、様々な場面で学校、地域、家庭による教育支援体制の一層の充実を図っている。また、地域でも「まちづくり協議会副会長」、「勝山地区青少年育成協議会会長」、「勝山教育後援会委員」を務めるなど、地域には欠かすことのできない人材であり、学校、地域、保護者の重要なパイプ役として、子どもたちの健全育成のために尽力している。
		東原 稔	前会長	
115	徳島県	ながはま ひろゆき	徳島県PTA連合会	単位PTAでの会長職、郡や県での連合会会長職などを歴任し、PTA活動は、子どもだけでなく、大人も楽しく成長するチャンスとして、自己が率先して取り組み、リーダーシップを発揮して、会員の共感を集めて活動してきた。また、他の単位PTA組織や上部組織の先進的な取り組みから率先して学び、自己の組織運営に活かしており、より良い活動に大きく貢献してきた。
		永瀆 浩幸	会長	
116	香川県	なわ きょうたろう	公益社団法人 日本PTA全国協議会	日本PTA四国ブロック研究大会において、企画・準備・運営に尽力して、実行委員会をまとめ、また、日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会においても重責を果たし、両大会を成功に導いた。また、日本PTA全国協議会においても、その活動の情報を県内の会員に広く周知し、PTA活動の活性化に尽力した。
		名和 京太郎	元副会長	
117	香川県	みよし ひさし	香川県国公立幼稚園 PTA連絡協議会	長年にわたり、単位PTA、観音寺市PTA、香川県PTAにおいて、役員・会長として組織運営・事業推進に努め、学校・家庭・地域の連携を深めてPTA活動の充実と活性化に尽力した。特に、広報委員会活動に力を入れ、広報紙を活用してPTA会員の活動意識の向上を図った他、香川県PTAの円滑な組織運営をめざし、事務局体制を整え、PTA活動の活性化に貢献した。
		三好 寿志	元会長	
118	愛媛県	みよし たけし	愛媛県PTA連合会	各連合会の役員として、長年にわたり率先してPTA事業を推進してきた。卓越した行動力、見識、判断によって、PTA活動の中心的な役割と重責を担ってきた他、監事、顧問としてオブザーバー的な役割を果たし、PTA活動を支えたるなど、PTA活動の活性化・青少年の健全育成に大きく貢献した。
		三好 猛	元会長	
119	愛媛県	ふくら こういち	愛媛県私立幼稚園 PTA連合会	家族の大切さを理念に掲げ、互いに支え合い分かち合える温かなPTA活動の在り方を求め続け、県下各地域で保護者のニーズに応じたフォーラムを開催した。また、連合会役員としてPTA活動の振興と発展に寄与し、家庭教育の推進に努めるなどし、保護者の意識改革へつなげることで、子どもたちの健全な育成のため家庭と幼稚園、地域が一体となって子育てができる教育環境の整備に尽力し、幼稚園の教育と文化の発展・振興に寄与している。
		福羅 浩一	副会長	

120	愛媛県	むらかみ いちろう	愛媛県PTA連合会	単位PTA及び各連合会の会長等の要職を長きにわたり務めてきた。常にリーダーシップを発揮し、研修・事業推進を率先して行い、組織運営の充実・発展に努めた。さらに、日本PTA全国研究大会徳島大会実行委員会副委員長、日本PTA環境対策委員会副委員長等を務め、四国ブロック協議会・日本PTA全国協議会の組織運営充実・発展に尽くした。
		村上 一郎	元会長	
121	高知県	のじま としかず	高知県小中学校PTA連合会	幼稚園から中学校までの多年に渡り、単位PTA、連合会等の様々な団体においても会長等を歴任しており、地区でのPTA活動はもとより、高知県小中学校PTA連合会の活動にも労を惜しむことなく確実に務めた。また、PTA活動においてスムーズな運営を心掛け、高知県小中学校PTA会員からの支持も厚く、地域の教育力向上への地道な取組とその貢献は大きい。
		野島 利和	会長	
122	高知県	しももと たかし	高知県小中学校PTA連合会	長年にわたり、小学校及び中学校それぞれの単位PTAの役員として、学校と協力しながら積極的に活動してきた。さらに、高知県小中学校PTA連合会の理事としても、家庭教育の推進や教育環境の整備・充実、学校教育に対する協力態勢の確立に努めるなど、青少年の健全育成のために尽力するとともに、組織の整備や活性化にも大きく貢献してきた。学校・家庭・地域をつなぐ取組において、中心的な役割を果たした功績は多大である。
		下元 隆志	理事	
123	高知県	みやざき ひさし	幡多地区小中学校PTA連合会	連合会会長として家庭教育の推進や教育環境の整備充実、学校教育に対する協力体制の確立に努めた。児童・生徒がよりよく育っていくために、学校・家庭・地域が一体となった活動の大切さを広く伝えながら、所属校はもちろん、地区、そして県全体のPTA活動の活性化を率先して推進した。高知県教育委員会の施策を十分に理解し、各市町村教育委員会と連携しながらPTA活動を推進するなど、地域の教育力向上への一助となるよう積極的に活動した功績は大きい。
		宮崎 久	会長	
124	福岡県	にしむら すみこ	福岡県PTA連合会	福岡県PTA連合会初めての女性会長として、自身の経験を生かし、保護者と学校をつなぐ役割を果たすなど貢献してきた。県教育委員会との連携強化を図るとともに、地域の支援を得て、児童・生徒の通学路の安全・安心に取組んだ他、児童生徒の交通安全教育の研修にも意欲的に取り組むなど、PTA活動の振興に寄与してきた。
		西村 澄子	元会長	
125	福岡県	もとまつ せいいちろう	福岡県PTA連合会	県PTA連合会や単位PTAの会長等役員を歴任してきた。連合会の組織強化はもちろん、単位PTAの組織力・各家庭の教育力の向上にも積極的に取り組んだ。保護者の親力を強化するために、各種研修会への積極的な参加を促進し、家庭・学校・地域の連携強化に力を注いだ。これらの取組は、次期役員に引き継がれ、活動の活性化に大きく寄与したといえる。
		本松 政一郎	前会長	
126	福岡県	こが きみひこ	福岡県PTA連合会	うきは市立御幸小学校PTA会長を始め、様々な連合会において会長職を務め、それぞれの組織の充実発展に努められた功績は非常に大きいものである。また、福岡県PTA連合会会長として、先頭に立って各種事業、研修会、県教委との教育懇談会等に取り組み、そうした活動は県PTA連合会の役員はもとより、各ブロック、さらには単位PTAの役員に至るまで影響を与え、PTA活動の振興に大きく貢献した。
		古賀 公彦	元会長	
127	福岡県	そがべ しゅんすけ	北九州市PTA協議会	組織改革、財政改革、事業改革を三本の柱として、役員など人数の再編成、年会費値上げによる健全な財政基盤の構築、協議会員全体のための公正・平等な事業実施などに取り組んだ。また、法人格取得へ向けた抜本的改革にも取り組むなど、PTA活動の将来を見据えた様々な改革に取り組んできたこと功績は大である。
		曾我部 駿介	会長	
128	福岡県	ふじた たけお	北九州市PTA協議会	北九州市PTA協議会の会長として、会員の声に耳を傾け、できるだけ早く課題を解決していけるよう努め、また、九州ブロックPTA協議会相談役としても行動力を発揮し、九州のPTAの絆の強化につなげた。各区連合会、単位PTAのPTA活動がより充実したものになるようリーダーシップを発揮することで、北九州市のPTA活動の充実を図った功績は大である。
		藤田 武男	前会長	
129	福岡県	ひだか せいじ	福岡市PTA協議会	福岡市PTA協議会の会長として円滑な組織運営を進めながら単位PTAの結束を図るとともに、PTAが学校と家庭、地域を結び架け橋となり社会全体で子どもを育む「共育」を推進した。その他、九州ブロックPTA協議会をまとめる中心的な役割を果たし、九州地区のPTA活動の推進と躍進に尽力するとともに、第60回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会の会長として運営組織全体を統括し、大会を成功に導いた。
		日高 政治	前会長	

130	佐賀県	まつなが しんじ	佐賀県PTA連合会	単位PTAの役員、市小中学校連合PTAの会長を歴任する間、市教委や地域と連携協働した、読書活動の推進や子ども見守り隊の設立など地域課題解決に向けた組織づくり、改善活動に積極的に取り組んだ。また、県P連副会長として、県内全域で取り組む「家庭の日」の設立や九州ブロックPTA協議会研究大会佐賀大会の企画、運営を行うなど多大な功績を挙げている。このように、長年にわたり、組織の整備・充実、諸活動への積極的参加、改善策の企画、運営等、PTA活動の振興に尽力し、貢献した。
		松永 真治	元副会長	
131	長崎県	さとみ ひろのり	長崎県PTA連合会	人の意見によく耳を傾け、柔軟な発想と誠意をもってPTA活動に取り組んできた。長崎市PTA連合会会長としては、「単位PTAのために！」を合言葉に、改革を推進し、各PTA役員が自信と誇りを持って、責任を全うできる体制づくりに寄与した。「日本PTA全国研究大会長崎大会」に関しては、平成23年度(県P連副会長)に準備委員会を立上げ、平成24年度(県P連会長)に実行委員会を組織し、成功に向けて、基盤づくりに貢献した。
		里見 浩則	元会長	
132	長崎県	さがら かずよし	長崎県PTA連合会	家庭教育・学校教育・社会教育への深い理解と豊かな教育観で献身的な活動が顕著であり、会員からの信頼も絶大であった。長崎県PTA連合会において会長等を務め、卓越したリーダーシップを発揮し、県下のPTA組織をまとめ上げると共に、行政機関や他団体との連携にも積極的に取り組むなど、率先垂範する指導力と行動力で会長職を務め上げた。また、「日本PTA全国研究大会長崎大会」に関しては、大会の成功に向けて、基盤づくりに貢献した。
		相良 和義	元会長	
133	長崎県	まつざき しんじ	長崎県PTA連合会	長年にわたり、長崎県や大村市のPTA連合会会長等を歴任し、長崎県及び大村市のPTA活動のために、全体的な視野に立ち、様々な活動に尽力した。特に、「日本PTA全国研究大会長崎大会」に関しては、大会の成功に向けて、計画の立案・運営にリーダーシップを発揮した。各小・中学校のPTA活動においても保護者の意識改革を図りながら、保護者の実態に応じた取組を推進した。
		松崎 真二	会長	
134	熊本県	みのだ なおみ	熊本県PTA連合会	PTAは学校最大の応援団である事、地域における生涯学習の核になる事を強く訴え、家庭教育の啓発・充実に力を注いだことがPTA会員の意識の向上につながった。九州ブロック研究大会くまもと大会において、中心的な立場で企画・運営等に尽力し、多くの成果と実績を残すなど、児童生徒の健全育成、保護者の健康安全等これまでの経験を生かしながらPTA連合会の発展・充実に大きく寄与した。
		蓑田 淳美	元副会長	
135	熊本県	きむら ふみひこ	熊本県立熊本支援学校PTA	熊本震災後の不安定な状況下でも、医療関係の情報をもとより県外の情報なども収集し、より良い復興とすべく県下の特別支援学校全てを網羅したアンケート調査を実施した。災害時における支援の必要な児童生徒・保護者を洗い出すことで行政機関も動かし、「福祉避難所」の改善につながった。その過程において関係PTA全国大会や特殊教育学会、新聞等で周知に努めるなど、果たした役割は大きい。
		木村 文彦	前会長	
136	熊本県	みやむら ゆういちろう	熊本県PTA連合会	単位PTA会長や母親代表に向けたリーダー研修会を主導し、リーダーの心得に関する研修を行った。また、県P大会では保護者としてのあり方の啓発に努め、多くの成果を得、熊本地震災後は、上益城事務所や5町教育委員会そして各種関係団体と緊密に連携し、物的、人的支援を行うことによって大きく地域や学校に貢献した。
		宮村 勇一郎	元副会長	
137	大分県	とみなが だいすけ	大分県PTA連合会	単位PTA、各連合会において役職を歴任し、その中で、PTA活動の活性化、子どもの健全育成のための他団体との連携協力、PTA組織の充実、事業活動の振興に多大な功績をあげた。特に、大分県PTA連合会「保護者心得六箇条」を制定し、県下全学校・家庭に配布し、「子育ての基盤は家庭にある」ことを強く認識させることができた。また、損保代理店「はぐく美保険サービス株式会社」を設立し、子どもの安心・安全のために、任意の「学生・子ども総合保険」の加入を推進してきた。
		富永 大輔	前会長	
138	大分県	かわづ ゆうせい	大分県私立幼稚園PTA連合会	7年の長期にわたり、大分県私立幼稚園PTA連合会会長として持ち前のリーダーシップを発揮し、会の安定かつ継続的な運営に寄与した。アイデアにより始まったミニバレーボール大会や地域巡回型にした子育てフォーラムは、会員相互の親睦を図る機会として毎年多くのPTA関係者が参加しており、PTA連合会活性化の面でも功績は多大なものがある。
		河津 勇成	前会長	
139	宮崎県	はやし ひでき	宮崎県PTA連合会	宮崎県PTA連合会の会長として、市郡PTA協議会との連携を図るとともに、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、子どもたちの健全育成とPTA会員の資質の向上及び本県教育の振興のために尽力した。また、日本PTA九州ブロック研究大会みやざき大会の開催に向けて、その準備に3年前から取り組み、準備・企画・運営などにおいて、指導力とリーダーシップを大いに発揮し、大会を成功へと導いた。
		林 秀樹	前会長	

140	鹿児島県	いわさ むつみ	鹿児島県PTA連合会	永年に亘り、小学校から中学校までの所属の単位PTA会長を歴任すると共に、その間、鹿児島県PTA連合会の発展・充実に大きく貢献した。課題解決に向けた積極的な行動力は、鹿児島県PTA連合会に係る組織運営の要として大きな成果を上げている。義務教育に係る小学校及び中学校PTA会長として、数多くの功績を残した。
		岩佐 睦美	元副会長	
141	沖縄県	おおた まもる	沖縄県PTA連合会	会長としてリーダーシップを発揮して組織改革に努めPTAの組織運営を活性化させるとともに、一般社団法人移行に伴う共済会制度に関する面でも、専門性を発揮して会を先導した。地域においても、子どもたちの健全育成に長期にわたり尽力し、薬物撲滅活動や、交通安全の啓蒙活動に力を発揮するなど、児童生徒の健全育成に尽力してきた。
		大田 守	元会長	
142	沖縄県	みやぎ たつみ	沖縄県PTA連合会	県のPTA連合会会長としてリーダーシップを発揮して組織改革に努めPTAの組織運営を活性化させた。また、一般社団法人への移行に伴う準備・移行作業に尽力し、さらに地域においても、子どもたちの健全育成に長期にわたり取り組んでいる。その他、見守り活動、キャリア教育、読み聞かせ等に貢献するなど、多くの実績を残しており、それらの功績は大きい。
		宮城 辰三	元会長	
143	沖縄県	おおしろ むねたか	沖縄県PTA連合会	県のPTA連合会会長としてリーダーシップを発揮し、組織改革に努めPTAの組織運営を活性化させた。また、一般社団法人への移行に伴う準備・移行作業に尽力した。地域においても、子どもたちの健全育成に長期にわたり尽力し、多くの実績を残すとともに人望も厚く、人格所見ともに優れている。
		大城 宗高	元会長	
144	公益社団法人 日本PTA 全国協議会	ひがしかわ かつや	公益社団法人 日本PTA全国協議会	長崎市立西浦上小学校PTA会長就任以来、長崎市PTA、長崎県PTA、九州ブロックPTAおよび本会の会長として今日に至るまで、子どもたちの健全育成と社会教育の振興に貢献をしてきた。活動を通して子どもたちの自律や家庭教育の重要性、組織の在り方、社会教育関係団体としての活動の視点、必要性等を自ら実践しながら、各地に伝播していくよう努めるなど、PTA活動の振興において数々の功績を残した。
		東川 勝哉	会長	